

高崎健康福祉大学における データ分析に基づいた教育改善の事例

■ 事例 1 : 「授業評価アンケート調査」を活用した教育改善（2026 年 9 月）

本学では長年にわたり継続して「授業評価アンケート調査」を実施しております。この調査は、大学自らが教育内容を振り返り・評価（自己点検・自己評価）するために不可欠な取り組みです。教員が授業に対する学生の率直な意見を真摯に受け止め、今後の授業内容や教育方法をさらに改善していくことを目的としています。

近年はインターネット方式で実施しておりますが、Web 調査としては非常に高い 80%近い回答率を維持しています。また、学生の授業満足度も 5 点満点中 4.5 点前後で高く推移しており、多くの学生に満足していただいていることが分かります。

学期	回答率 (%)	満足度 (0～5 点)
R7 後期	77.12	4.44
R7 前期	77.88	4.47
R6 後期	73.88	4.58
R6 前期	82.38	4.56
R5 後期	81.45	4.54
R5 前期	87.22	4.55
R4 後期	81.69	4.58
R4 前期	89.21	4.49
R3 後期	87.65	4.50
R3 前期	87.98	4.47

今回、この授業満足度に関係する要素について学内で詳細な分析を行いました。その結果を踏まえ、優れた授業を行う教員に贈られる「ベストティーチャー賞」を複数回受賞している教員を講師に迎え、全教員を対象とした「FD 研修会（授業改善のための研修会）」を実施いたしました。

高崎健康福祉大学では、これからもデータに基づいた継続的な教育方法の改善に努め、より質の高い教育を学生へ提供してまいります。

健大FDの日 学生の声から振り返る 授業づくり

2026年9月8日
健康栄養学科 木村 典代

1

本講義の目的

FDの日の目的

過去に複数回「教員表彰」を受けた教員の実践事例を共有し、それを手がかりとして、各教員が自身の授業を振り返り、グループディスカッションを通して、授業改善につなげること

→ 各教員の授業の振り返りに役立ちそうな実践事例を共有すること

2

アウトライン

1. 担当科目の特徴について
2. 授業満足度を構成するもの
3. 今後の授業実施上の課題

3

1. 担当科目の特徴について(管理栄養士養成科目)

専門基礎分野	専門分野
• 社会・環境と健康 (1) • 人体の構造と機能及び疾病の成り立ち (3) • 食べ物と健康 (3)	• 基礎栄養学 (1) • 応用栄養学 (1) • 栄養教育論 (1) • 臨床栄養学 (2) • 公衆栄養学 (1) • 給食経営管理論 (1)

健康的な食生活や食行動の形成・改善を支援するために、行動科学や教育理論を基礎として、対象者に応じた栄養教育・栄養指導の方法を学ぶ分野

(各科目群の代表担当教員数)

→ 全ての科目にそのまま当てはまるわけではない

4

大学教育に求められるものが変わってきている

何を教えたか

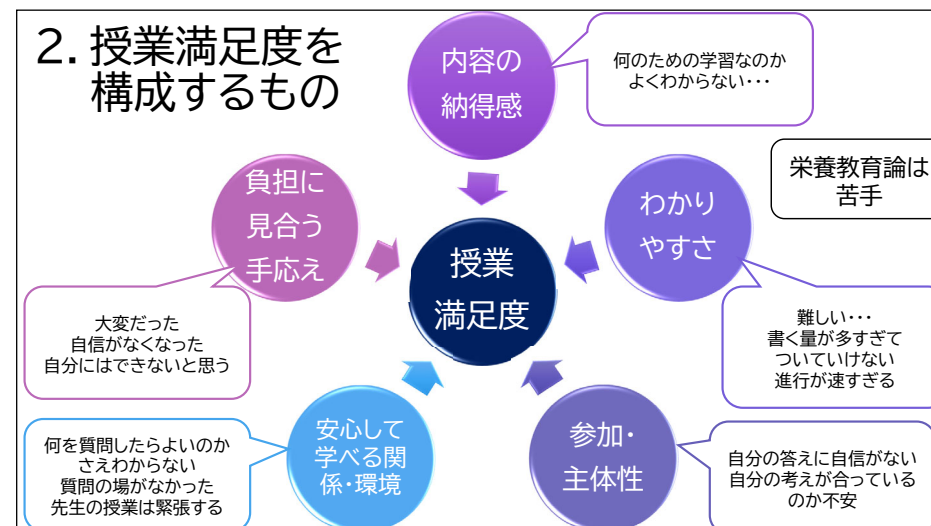


学生が何を身につけ、どのように成長したか

「新たな評価」では、学修成果、学生自身の成長実感、
社会からの評価を可視化し、
教育改善につなげることが重視されている

5

2. 授業満足度を構成するもの



6

内容の納得感

・アウトラインと到達目標を毎回の授業開始時に

・今日の授業内容が、

管理栄養士の

どのような業務と関連し

どのようなシーンで使われるのか

これまでの

どの科目と関連しているのか

国家試験では

どれくらい、どのように出題されているのか

などをつなげて、かつ経験談をいれて説明する

学ぶ意味がわかる → 授業の価値を感じてもらえる

7

栄養教育論Ⅱの到達目標について

1. 栄養教育に必要なアセスメントの種類とその特徴を説明できる。
2. 対象に応じた栄養教育の目標の種類とその特徴を説明できる。
3. 対象に応じた栄養教育の方法とその特徴を説明できる。
4. 栄養教育プログラムの評価の種類とその特徴を説明できる。
5. 栄養教育プログラムを作成し実施できる。
6. 栄養教育プログラムの評価・改善ができる。

栄養教育マネジメント 講義資料

全体のどこの部分を
学習するのかを
毎回提示するとともに、
それを行う意義を伝える

他職種連携 講義資料

チームマネージャーとの連携	
補食の準備	
実際に準備する	何を食べるかを提案する
合宿・遠征の食事調整	
宿泊施設との調整 弁当発注	必要な食事内容を提案 食事内容の確認と改善と提案
水分補給環境の整備	
飲料準備 クーラーボックス管理	水分補給計画作成
食事調査支援	
回収支援、日程調整	調査を企画

管理栄養士の業務内容を
提示して、具体的に自分がどのよう
なことをやったかを紹介
どの科目で学ぶ内容だったか確認

8

【今期の学生の声】

- 具体的な例があったので、栄養士の仕事が想像しやすかった。
- 実際に考えて計画・案を立てるという活動が多く、管理栄養士の卵みたいな感じがした。
- 課題にしっかりと向き合って解決できるようになりたい。
- 難しいとは感じたが、妹のバレーボールの栄養の指導をしてみたいと思った。
- 1年から更にレベルアップして、より実践的な内容を学習でき、将来、やりたいことに近づけたと思いました。

9

わかりやすさ

- 複雑な内容は整理する → PPT作成時に自分の頭を整理
- 重要なところがわかる → 穴埋め形式にした配布資料を準備
- 覚えるところがわかる → 繰り返して説明する
- 特に難しいところ → ゆっくり・はっきり・言い方を変える
声のものさし・話の間をつくる

学生の表情をみて、対応を変える

10

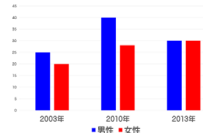
目的にあった表現を選ぶ

見せたい情報は、
何を達成するためのものか
一番伝えたいことは
何か？

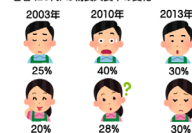
若者（20代）の朝食欠食率の変化

	男性	女性
2003年	25%	20%
2010年	40%	28%
2013年	30%	30%

若者（20代）の朝食欠食率の変化



若者（20代）の朝食欠食率の変化



PPTの作り方 講義資料

→対象者・目的に
合わせて
表現方法を変える

11

見てもらいたい所を確実に見てもらう
重要なところに色をつける

- 聴衆の目に触れる時間は非常に短い
- 小さな文字でたくさん書き込まない
- 1スライドに書き込む行数と字数は
8行以内 × 20字以内
- 文字の大きさは28P以上
- 全体のバランスを考慮する
- 単語の途中で改行しない 28P 36P

PPTの作り方 講義資料

→基本的に
このルール

12

文字のコントラストとフォントに気を使う

PPTの作り方 講義資料

→基本的に
白地に黒字

下地が明るく
文字色が濃いと
見やすい
文字はUDフォントを！

みどりや黄色は色が
飛んでしまう。
フォント色としては
向かない

下地が濃すぎると
目がちかちかする。
白抜き黄抜きも眼が痛い

紺に黄色やしろの文字は
くっきりするが、
会場全体が暗くなり
眠くなる

13

【今期の学生の声】

- イラストや図が多く、視覚からも理解しやすかった。
- 穴埋め形式の授業だと復習しやすいし、試験勉強に役立った。
- 大事なポイントを何度もくり返して教えてもらえた。
- 分からない問題や、難しいと感じた問題はすぐに解説をしてくれた。

14

参加・主体性

・一方的に聞くだけではなく、

考える・話す・答える・

確認する・相談する

を約5分おきに入れる

受けた < 授業に参加した
の感覚を強める

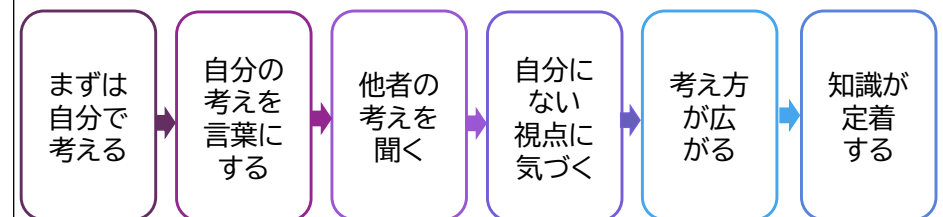
2413009	2413016	2413029	2413007	2413028	2413018	2413017	2413002	2413006
2413084	2413008	2413095	2413013	2413045	2413024	2413041	2413073	2413034
2413040	2413086	2413012	2413053	2413060	2413074	2413033		
2413021	2413063	2413032		2413064	2413035	2413067		

栄養士は、対象者を選べない
どんな人とでも会話する練習
コミュニケーション力を高める
こともこの授業の目標の1つ

授業はすべて指定席で毎回変える
3人組で常に話して、考えさせる
3人の挨拶から授業をはじめる

15

アクティブラーニング



どこに対する声が多いか？

16

【今期の学生の声】

- 他の人と話し合う時間は自分の考えの幅を広げるためにも大切だと思った。
- 会話をたくさんする授業のため、色々な考え方を知れて楽しかった。
- コミュニケーション力が上がったと思う。この経験を後期に活かしたい。
- 毎日違う席で色々な人と話しができるのが楽しかった。

17

安心して学べる関係・環境

【授業中】発言・質問の心理的な安心をつくる

- 質問してもよいと思える
- 間違えても説明してもらえる
- 困っていれば声をかけてもらえる
- 発言したことを受け止めてもらえる

というムードをつくる

突然マイクを向けて
発言を求めると、
恐怖の授業に・・・

↓
まずは3人で相談して、
グループの考えが
まとまった頃、
マイクを向けると
比較的スムーズ

18

ムードづくり 注意するよりも関係を切らずに授業を戻す

うるさい学生

- ・チーン！ を鳴らす
- ・笑いが起こる
- ・気持ちよく授業に戻れる



寝ている学生

- ・大丈夫？
具合が悪いの？？ と
体調を心配してみる



提出物が出ない学生

- ・最初に、提出は加点、
未提出は減点を明確に
・お忘れではありません
か？というメール送信



19

【授業後】置いて行かれない安心感をつくる

振り返り 講義資料

- わからないところを
確認してもらえる
- アンケートにわからないことを
書けば次週説明してもらえる
- 他の人の疑問も共有して
もらえる

第3回の授業後の感想より

- ・「環境目標」と「実施目標」の区別
- ・「行動目標」と「結果目標」の区別 が難しい
- ・授業中は理解できるが、問題になると難しい
- ・目標は理解できたけど、評価指標が難しい
(特に個人と集団の区別)
- ・復習がとても大切だと気が付いた

毎回の授業後に、難しかった箇所や説明してほしい箇所を記入してもらい、
次週の授業ははじめに共有する

20

【今期の学生の声】

- ・質問しやすい。
- ・もやもやしたまま授業が終わることがなくて良かった。
- ・毎回の授業で理解度を確認してくれたおかげで、自分のわからない点を確認することができて良かった。
- ・全員正解になるよう、繰り返し教えてもらった。
- ・前回よく理解できなかった内容をもう一度分かりやすく説明して下さったところが個人的にとっても助かった。

21

負担に見合う手応え

課題や学習量が多くても、

- ・最初はわからなかったけれど、今はわかる
- ・問題が解けるようになった
- ・説明できるようになった
- ・気が付いたら覚えていた

という変化を学生自身が実感できると不満はでにくい

努力に対して得られるものがあることが大事

22

毎回の理解度の確認 フォーム 15～30分

・学籍番号 名前

・問題

国家試験の出題形式

虫食い問題

記述式 など 本日の授業内容を盛り込んで出題

不正解が多かった問題は、次週も再確認

・本日の授業の理解度は？（10段階で評価）

わかりづらい

とてもわかりやすい

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

・本日の授業の感想をお願いします。質問も受け付けます！

授業実施日の
翌日の23:55までの提出

提出内容をみて、毎回 0～3点 の加点対象

23

【今期の学生の声】

- ・気付いたら覚えていて嬉しかったです。
- ・間違いやすいところを繰り返して課題として出してくれたため、
しっかり覚えることができた。
- ・課題のボリュームが多くてしんどい時もありましたが、その都度
復習することができてよかったです。
- ・合っていたときに自信がもてた。

24

今期の授業改善を求める声

- 座席は、3人ではなく2人の方がよい → 保留(毎年1人はいる)
- 課題の締切が少し早い → 保留(毎年数名いる)
- 試験期間の課題が多く、テスト勉強に割く時間が少なかった
→ 提示方法を修正
- Word入力ではなく紙媒体がよい → 提示方法を修正
- 後ろだとスライドが見づらい → PPTの配置を検討
- 何回も復習できるようにしてほしい → UNIPAの利用を検討

25

3. 今後の授業実施上の課題

- やらない学生が意識が低い学生だと決めつけないこと
→ やりたくなる条件をどう作るか
- 学生の学習背景は多様化しており、従来の授業方法では、
対応が難しい場面が増えている
→ 他の先生方の工夫や成功例も参考にしたい

26